

令和 7 年度 荒川区地域経済活性化及び観光プロモーション推進協議会
第 1 回 観光プロモーションに関する分科会
議事要旨

(1) 概要

開催日時	令和 7 年 6 月 12 日(木) 午後 3 時から午後 5 時まで
開催場所	荒川区役所 大会議室
出席者 (敬称略)	(協議会委員) 分科会長 丸山 慎二郎 委 員 田中 類 委 員 細谷 誠 委 員 山田 章博 (区側出席者) 産業経済部長 小林 弘幸 産業振興課長 山下 英男 経営支援課長 中野 大志 就労支援課長 伊藤 大介 観光振興課長 渡部 雅人
欠席者	なし
配付資料	・ 資料 1 埋もれている観光資源の発掘と活用について

(2) 議事

議題	「荒川区の埋もれている観光資源の発掘と活用について」
議事内容	
1. 事務局から資料説明 観光振興課として考えている荒川区の埋もれている観光資源の例、及びそれを組み合わせた活用案について、事務局から説明がなされた。 2. 意見交換（各委員の主な発言） （分科会長から） ・本分科会のチーム理念（Philosophy）・VISION（目指す未来像）・MISSION（使命）・VALUES（価値観）のたたき台が提示され、おおむねその方向性は賛同された。具体的には以下のとおり	

○チーム理念 (Philosophy)

「楽しいことを正しくしていく “人と人が繋がる観光” を荒川区から

○VISION (目指す未来像)

～ “関係人口” がどんどん増えるコミュニケーション力がアツい区に！～

○MISSION (使命)

- ✧ 地元ならではの魅力を活かして、継続できる楽しい事を行う
- ✧ 区民・企業・区外の人達も同じ地域のにぎわいの課題を持つ仲間とのつながりを促進し、関係人口を増やす
- ✧ 一過性でない想いや体験を通じて「また会いたくなる人・場所」を増やす
- ✧ 小さな成功体験を積み重ね、荒川モデルを区全体そして区外へも展開していく

○VALUES (価値観)

- ✧ つながりを大切に：出会いを関係に変え、関係を継続につなげる
- ✧ 楽しく、ポジティブに：私たち自身が楽しみ、そしてまわりを巻き込もう
- ✧ 共に育つ：地域の未来をみんなで描こう
- ✧ 受け入れよう：関わり方は人それぞれ。柔軟な関係性・多様性を認め合う
- ✧ “継続できる” を大切に：無理なく続けられるアイデアと行動をプランニングする

(以下各委員から)

- ・荒川区に来る（自店の）お客さんからは、「泊まる場所が（荒川区に）ない」と言われることが多い。宿泊場所が遠くなるため、夜間帯の滞在が少ない。ゲストハウス等が増えると、お金をもっと落としていってもらえるのではないかな。
- ・打ち上げ花火（単発イベント）ではなく、「どう仕組みを残す、どう次に残していくか」が大事である。
- ・「イメージがないものを、どのようにしたらイメージを持ってもらえるか」というのがブランディングである、と思っている。
- ・繊維街に関して、滞在時間が短いというのはそのとおり。飲食店も少なく（お客様に）「どこで食事をしたらよいか」とよく聞かれる。宿泊施設は少しずつできているが、滞在時間がとにかく短い。
- ・製造業をグローバルと繋げていきたい。どこから手を付ければよいかはまだわからない。製造業の面白さは、私たちは普通と思っているが、彼ら（外国人）にとっては奇跡のようなことかもしれない。
- ・近隣区では観光協会の立ち上げに信用金庫が関わっており、荒川区で観光協会を立ち上げるのであれば、アドバイスしてくれるとの話を頂いた。

- ・突出した一番でなければ、誰も行かない。荒川区は何が一番なのかを出してみて、それを芯にした施策を出せば。人、あらかわ遊園（日本一遅いコースター）、都電、日興エボナイトなど
- ・（カラオケなどを含めた）スナック文化は外国人に受けると思う。アニメソングなどは外国人でもわかる。水戸ではスナックツアーをやっている。来るのは富裕層や、普通の観光に飽きた外国人。
- ・「オンリーワンの観光戦略とは何か？」を考えると、観光ではなく「くらしを体験できる街」だと思う。昔の生活を、荒川区で体験できるのであれば、コアな外国人は来てくれるかもしれない。
- ・区立の遊園地があることはすごい。その周辺に下町のいろいろなものがあって、日中は買い物やものづくりの体験、夜はゲストハウスなどに広がっていくのが良いと思う。
- ・交通の便でいえば荒川区は良いと思う。新幹線の駅も近く、羽田・成田空港ともアクセスできる。
- ・宿泊を増やすのは良いが、「勝手に増える」のではなく「意図して、制御して増やす」必要がある。民泊（で自由にやらせるの）ではなく、旅館業許可を受けた業者などで入口からコントロールしながら増やしていくことが望ましい。
- ・外へのプロモーションだと体力（資金）勝負になり、予算の問題も出てくる。内側から火をつけることができると、らしさが出てくる。
- ・行政のホームページが面白いと思ったことは無い。観光のページだけでも変わってもよいのでは。

（以上）